

2023 年合格目標 T A C 中小企業診断士講座 『運営管理』 正誤表

2023/3/3 更新

※当正誤表は中小企業診断士講座全コース共通のものになります。
 ※教材によっては、お申込みのコースに含まれないものもございます。詳しくは受講ガイドにてご確認ください。
 ※更新日は正誤表に掲載した日付となります。最新版は TAC WEB SCHOOL のマイページ「正誤情報」をご確認ください。

【今回更新分】

更新日	教材／ページ・行	誤	正
■第1次試験過去問題集『運営管理』			
3/3	p. 35 第5問 解説全体	次ページをご参照ください	
	p. 57 第30問 選択肢イ 解説2行目	～記憶された価格を内部参照価格という。	～記憶された価格を内的参照価格という。
	p. 125 第35問 選択肢イ 解説1行目	イ ×：物注センターを介することなく、	イ ×：物流センターを介することなく、
	p. 163 第2問 解説2～3行目	～在庫の総量をエシエロン在庫とよぶ。	～在庫の総量をエシエロン在庫とよぶ。
	p. 266 第39問 選択肢c 解説2～4行目	2～3行目 CRMとは、個々の顧客のロイヤリティを長期的に高め、 4行目 ロイヤリティ向上に有効な～	2～3行目 CRMとは、個々の顧客のロイヤリティを長期的に高め、 4行目 ロイヤリティ向上に有効な～
	p. 290 第30問 [解答群] ア～オ A	ア～ウ 短期性 エ、オ 長期性	ア～ウ 短期的 エ、オ 長期的
	■1次上級テキスト『運営管理』下巻		
3/2	p. 141 令和元年度 第39問 選択肢c 解説3, 4行目	3行目 CRMとは、個々の顧客のロイヤリティを長期的に高め、 4行目 ロイヤリティ向上に有効な～	3行目 CRMとは、個々の顧客のロイヤリティを長期的に高め、 4行目 ロイヤリティ向上に有効な～

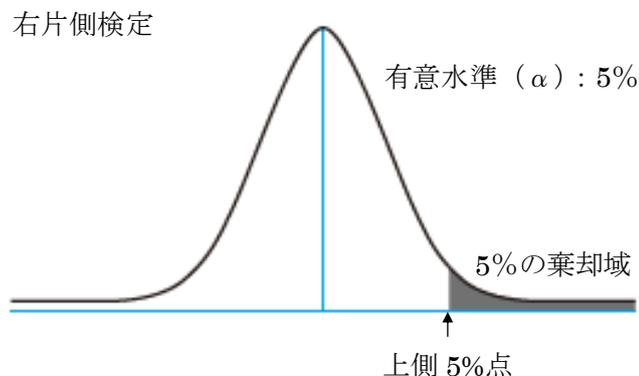
■ 第 1 次試験過去問題集『運営管理』 p. 35 第 5 問

第 5 問

統計的検定の 1 つである t 検定に関する問題である。t 検定とは、2 つの母集団の平均値に違いがあるかどうかの検定に用いられる。「2 つの標本の母分散が未知であるが等しいこと」が t 検定を用いる前提である（本問ではこの前提まで意識する必要はない）。確認したい内容を対立仮説とし、その反対を帰無仮説として設定する。

- ・ 帰無仮説 「生産条件の変更によって（製品）特性の平均値は変化していない」
- ・ 対立仮説 「生産条件の変更によって（製品）特性の平均値が上がった」

設定した帰無仮説について検定を行う。本問では、「（製品）特性の平均値が変わったか（大きくなったり小さくなったり）」ではなく、「大きくなったか」を検証するため、両側検定ではなく右片側検定を行う。

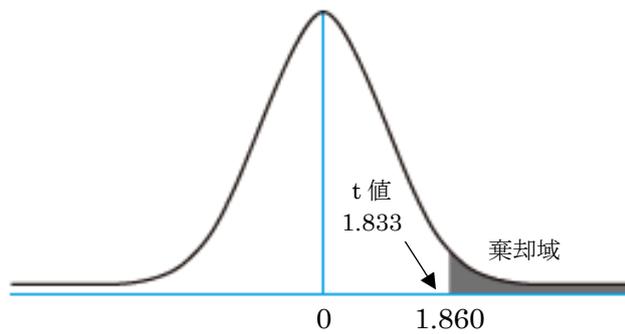


まずは、与えられた設定条件より、検定統計量 t の値を求める。検定統計量 t は、データの平均を \bar{x} 、母平均を μ 、標準偏差を s 、サンプルサイズ n とすると、以下のように算出される。

$$t = \frac{\bar{x} - \mu}{\frac{s}{\sqrt{n}}} = \frac{71 - 65.5}{\frac{5.5}{\sqrt{9}}} = \frac{5.5}{\frac{5.5}{3}} = 1.833$$

この検定統計量 t 値が、棄却域に含まれるか否かで、帰無仮説「生産条件の変更によって（製品）特性の平均値は変化していない」が棄却されるか否かを判断する。

次に、棄却域の境界（上側 5%点）を、与えられた t 表から求める。検定に用いる自由度とは、自由に動けるサンプルサイズのことをいい、 t 検定では「自由度はサンプルサイズから 1 を引いた値」となる（中小企業診断士試験における検定に関する問題では、（自由度 = サンプルサイズ - 1）と考えて差し支えない）。本問においては、サンプルサイズが 9 個と示されているので、自由度は 8 となる。よって、上側 5%点は 1.860 となる。



以上より、検定統計量の値は、棄却域に含まれていないと判断できる。したがって、検定統計量の値が「1.860 より小さくなった」(空欄 A)。これにより帰無仮説が棄却されず、生産条件の変更によって平均値は上がったと「いえない」(空欄 B)。よって、エが正解である。

2023 年合格目標 T A C 中小企業診断士講座 『運営管理』 正誤表

【前回更新分】

更新日	教材／ページ・行	誤	正																																																																								
■基本テキスト『運営管理』																																																																											
12/6	p. 93 図表 1-2-51 の下の文章 2 行目と 4 行目	部品 Y	製品 Y																																																																								
1/18	p. 154 ④ HACCP の本試験出題実績	R3 <u>30</u>	R3 <u>40</u>																																																																								
12/6	p. 189 図表 2-1-9 内用語	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">居住調整区域</td> <td style="padding: 2px;">住宅地化を～</td> </tr> </table>	居住調整区域	住宅地化を～	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">居住調整地域</td> <td style="padding: 2px;">住宅地化を～</td> </tr> </table>	居住調整地域	住宅地化を～																																																																				
居住調整区域	住宅地化を～																																																																										
居住調整地域	住宅地化を～																																																																										
1/18	p. 198 上から 4 行目	中心地域に <u>2,691</u> 、周辺地辺に <u>478</u> の立地であり～	中心地域に <u>478</u> 、周辺地域に <u>2,691</u> の立地であり～ ※正誤にともない、同頁 3～5 行目「ただし～注意したい。」までの文章を削除																																																																								
■トレーニング『運営管理』																																																																											
1/18	p. 140 A1-2-33 PERT 図 作業 C に対する吹き出しの文章 右端のノードの番号	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">作業 C に対する吹き出しの文章</div> <p>作業 C は、クリティカルパス上の作業ではない。ノード 5 に 1 日の余裕が見られるため、2 日でなく 3 日まで作業を短縮すればよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">右端のノードの番号</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 6 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">作業 C に対する吹き出しの文章</div> <p>作業 C は、クリティカルパス上の作業ではなく、1 日の余裕が見られるため、2 日でなく 3 日まで作業を短縮すればよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">右端のノードの番号</div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 5 </div>																																																																								
12/27	p. 152 A1-2-49 選択肢ウ、エの解説	<p>ウ ○：正しい。一定の発注点に対し、発注量を増加させると、在庫量が増加するため、年間の品切れ量は、減少する。</p> <p>エ ×：一定の発注量に対し、発注点を高くすると、<u>発注回数</u>が増加し、年間の品切れ量が減少する。</p>	<p>ウ ○：正しい。一定の発注点に対し、発注量を増加させると、在庫量が<u>発注点を下回る回数</u>が減少するため、年間の品切れ量は、減少する。</p> <p>エ ×：一定の発注量に対し、発注点を高くすると、<u>従来と比べ</u>保有する在庫量が増え、年間の品切れ量が減少する。</p>																																																																								
■1 次上級テキスト『運営管理』上巻																																																																											
10/21	p. 3 2) 設問別の正答率	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和 2 年度</th> <th colspan="2">令和 3 年度</th> </tr> <tr> <th>設問数</th> <th>構成比</th> <th>設問数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">27.3%</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">11.4%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">31.8%</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">29.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">20.5%</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">34.1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">13.6%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">20.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6.8%</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4.5%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">59.1%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">40.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">20.5%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">25.0%</td> </tr> </tbody> </table>	令和 2 年度		令和 3 年度		設問数	構成比	設問数	構成比	12	27.3%	5	11.4%	14	31.8%	13	29.5%	9	20.5%	15	34.1%	6	13.6%	9	20.5%	3	6.8%	2	4.5%	59.1%		40.9%		20.5%		25.0%		<p>正しくは以下のとおり</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">令和 2 年度</th> <th colspan="2">令和 3 年度</th> </tr> <tr> <th>設問数</th> <th>構成比</th> <th>設問数</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">11.4%</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">27.3%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">29.5%</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">31.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">34.1%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">20.5%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">20.5%</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">13.6%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">4.5%</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">6.8%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">40.9%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">59.1%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">25.0%</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">20.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和 2 年度と令和 3 年度の数値が逆</p>	令和 2 年度		令和 3 年度		設問数	構成比	設問数	構成比	5	11.4%	12	27.3%	13	29.5%	14	31.8%	15	34.1%	9	20.5%	9	20.5%	6	13.6%	2	4.5%	3	6.8%	40.9%		59.1%		25.0%		20.5%	
令和 2 年度		令和 3 年度																																																																									
設問数	構成比	設問数	構成比																																																																								
12	27.3%	5	11.4%																																																																								
14	31.8%	13	29.5%																																																																								
9	20.5%	15	34.1%																																																																								
6	13.6%	9	20.5%																																																																								
3	6.8%	2	4.5%																																																																								
59.1%		40.9%																																																																									
20.5%		25.0%																																																																									
令和 2 年度		令和 3 年度																																																																									
設問数	構成比	設問数	構成比																																																																								
5	11.4%	12	27.3%																																																																								
13	29.5%	14	31.8%																																																																								
15	34.1%	9	20.5%																																																																								
9	20.5%	6	13.6%																																																																								
2	4.5%	3	6.8%																																																																								
40.9%		59.1%																																																																									
25.0%		20.5%																																																																									

2023 年合格目標 T A C 中小企業診断士講座 『運営管理』 正誤表

■ 1 次上級テキスト『運営管理』下巻			
11/29	p. 119 令和 3 年度 第 35 問 解答イの 1 行目	イ ×：物注センターを介することなく、	イ ×：物流センターを介することなく、
1/20	p. 176 (5) 新規に開業した SC の立地 3 行目	中心地域に <u>2,691</u> 、周辺地域に <u>478</u> の立地であり～	中心地域に <u>478</u> 、周辺地域に <u>2,691</u> の立地であり～ ※正誤にともない、2～4 行目「ただし～注意したい。」までの 文章を削除

正誤を発生させてしまいまして誠に申し訳ございません。ご確認の上、訂正いただきますようお願い申し上げます。